

和
お作
中世
T.



特別
^ 13
3633
52



特

門 八 13
號 3633
卷 52

繪雪者不能繪其清繪月者
不能繪其明繪花者不能繪
其馨繪泉者不能繪其聲繪
人者不能繪其情然則言語
文字固不足以盡道也嗚呼
斯書目前如紙上在妓筆下
偶之歎哉奇哉豬貞居題



正德二年六月八日
宮川曼康氏寄贈

題言



振鷺大人謂余あやむ凡遊ひ哉
 して江土之瘡と病ずんば男子乃
 部形くあゝ慚愧哉發而後
 悔を知れとの教あり予芒荅
 館の三稜鐵山と名月の額面照

鼓靴橋の晒鹿衣其臺よあゝねと
 酔と醒く懐中とと子きゆ棧橋の
 霜身上同ぐ傾く後朝の月思
 孤寫ひ情とあやす此憶説の新
 語中夜哉同一の語教べの
 されども無他金枝多つひ捨

よも心ふくあらず一章一句たる衆
 しも感むる者身か反するの戒
 とそかなる種べ戯作者流斯本を
 似る所以乃法なる事といはん也
 時は乃系れ本をむる形なり
 す源松葉麩斗一に物多

封紙に「く」はとの巻

魚采菴振鷺亭先生

門人 關東米



和哥甲中裏ヨリ見通江出ル像



越後屋

欲一折春華

標高枝不斜

盡心憊思後

反側作叶嗟

但仕慾の時ハひぢうめんの
つしげぢもどんを悪るなう

其若橋イヱキヨリ茶屋江至ル圖

妓め取人憐実か舞帆船

降似系慈心更き色



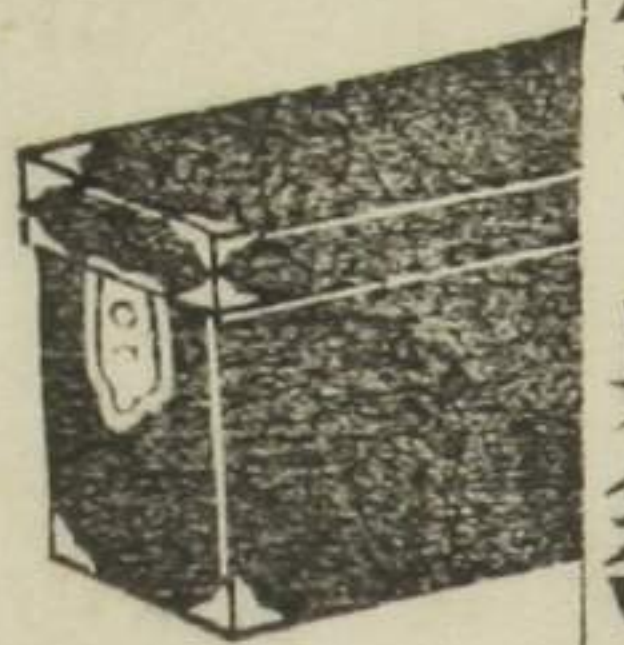
右の作しぐさ
あひからすのせら

各處ノ風俗



君も今
心もきりあはら
何ともあり

ハヨリ見番江口がわつて出る辨



流行唄曰



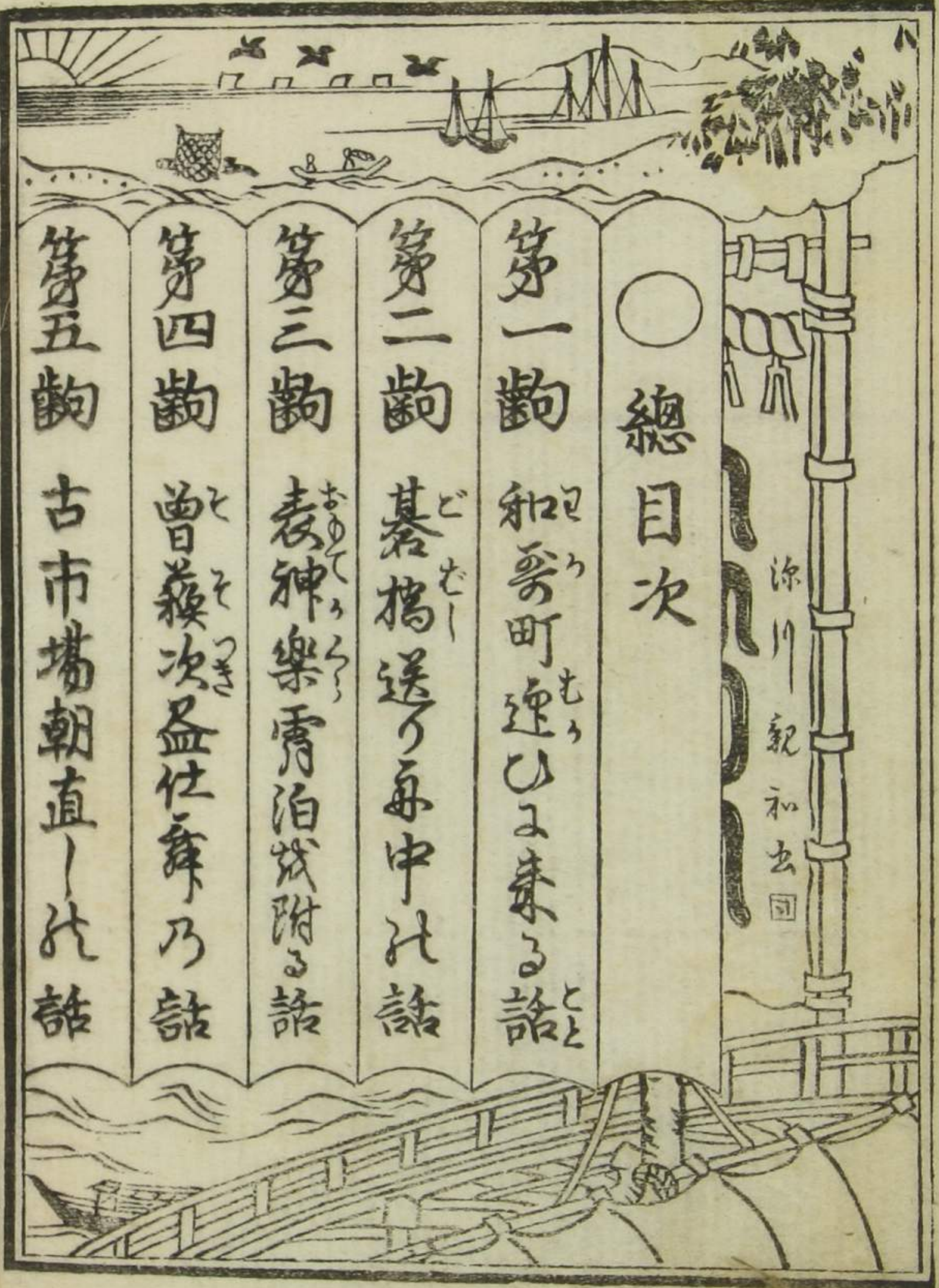
三下リ
〜行のやまたの八幡さんの市神行みでよのびりよた
乃びよその行どよ志やいなま 子も

○ 總目次

- 第一齣 和秀町連ひよ来る話こと
- 第二齣 碁搦送り舟中話
- 第三齣 表神樂宵泊成附る話
- 第四齣 曾孫次益仕舞乃話
- 第五齣 古市場朝直一話

- 第六齣 新市場初會中一話
- 第七齣 真地三味線をむく話
- 第八齣 裏神樂四明きよゆき話
- 第九齣 宇孫へつむみ返す話
- 第十齣 船打場路ト切切の話

右通計十編 全一帙



料理代直段附合印

後の仕まひの外、船運別よつくと、橋目所舟宿よび一ツまぐ附

和哥町
銀七拾二文
一切拾二文

新市場
朝直別
金二分

其橋
銀六拾文
一切拾二文

真地
金二分
一ツ一分

表神樂
金三分
金二分

裏神樂
益夜壹分

曾種友
朝直トモ
右同形

宇美
益六百
夜四百

古市場
朝直トモ
右同形

船打場
一ツ百文
泊六百

年中月次と見入組小国子准ず但や海用船を大段日とと

至 船 帳

第一節

古市場の朝直トモと見入組

明の鐘 ボナン 馬 カアトク
古市場のみかけな取あけのてい
トアとるりの舟取花とるるて

舟の 舟の あげせおきやな
舟の 舟の タアハヤとる

あぐりと舟の ちよつと見通しへりて見や

舟の 舟の 舟の 舟の
舟の 舟の 舟の 舟の

舟の 舟の 舟の 舟の
舟の 舟の 舟の 舟の

つれてゆた **女**モ おまきぬさん。モラシ 大女さんぐまら
ちこす **女**モ ウが さんご 孫むすめつく
トウクケケのびとちるぐら **女**良 チヤゴラッとして今 ゆめ 夏小見て
目とこまきと 教人目がわら **女**良 ちやゴラッとして今 ゆめ 夏小見て
わらわらへおまのりな **女**良 あらういあーりさんぶや
トウケルとま **女**良 うめとーい 孫へ 蚊をとまねあげてい
とまねあげてゆく **女**良 ゆふべのおあひむ
こころ 秘入ト 法例てあつまうはまき
い 申おやと 入て。いようくごいがよぢのりもぢのりて
わらさる。トットモ **女**良 ちやゴラッとして今 ゆめ 夏小見て

女良

川をへまけてくん移入^あコんせやなんど内川を
よて波^{なみ}らぐ。ごんやのこさんご^あをし男さ。志うけ
とてのらうはめりつこ^あふうけもままがはる。
せうあげまやちぐんごうがんまらうとらふたか
まのまんえんさう。志うけの地はまふまふまやぶご
このりらふで^{まふ}拾^{まふ}種^{まふ}あびこままやぶごのしやあ
祥へう。あまの裾幕^{すそまく}ヨフちよんくごらう。むら
つら^あ母^あふらふつらあぬが。あまのやなぬぐりの

本場へ下を愛とくつておんまよーやを^ああさ
Pごのたるぐつごのこてめんままのまのむまめ
う。ごうやまあともあつて。くうとあてぐつてうぜ
^あやうまのい^あモシゆべのおまの山の^あ路向^あ
ごふでござうのまま^あこの路向やうくごまハ
ごふで^あやうんでもちやぐぬでも。モシこで出させ
移入^あけやあ。おめいごむございせんざト^あちあらあ
おる。そのまを出してんや^ああらんあらんあらあ

度女 ハイク人たつもちちの〜**類分** 二つあげて

ちつとあちつ入らつらつとふ〜**類** あぢ入らつて

べん取ちもと〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

あぢつ〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

トコ〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

るや(あゆひやち〜**類** あまぬ〜**類** 入らつて

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜**類** 入らつて〜

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters enclosed in small boxes. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters enclosed in small boxes. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

で。塙の内なる女の影ククみもあづりてござらやまどが。
ひんとくは子程あおろーサ。舟う若の女房とこ
こせんおの程あのおよよ。まきまうぐあていけ
やせん。これがつとをこちのおあでいあーと。お前
さんうがぐまうらんの新入ととるさうめんでも
新入が。このごろのようよ。まままがまらさうちやア。
るまを子どもをなでもあぶらぐりまき。内乃内
用もくたるさうようふぐり。サ一世間がまきません

それどうも。さんむーの書いでもまぐついのゆめ新入も
つぐや。なまの船で小使ととることをまう新入やがで
まう。目うく評判といしやまのいトまきあれ
さんもやみふたこい。ま人のめうぐでまらんと。
あつさるまをさ出しなまらちやア海やせん。おあろ
なぐらうりやのるお志やあまら。う。はま
しづもあまのい。細く長くたまらうやエ
おいしうまはまら。金とかけこりの入を新入

ごめいさまよくごト友人さまと口うるくしくと人あつるあとハ
くまごうくびやうぶの中かまらるやうとは向ひ

女良 ねあふーよきさ **女良** ねあーよきさ。金がでた

ごうごめい「てきさのさ **女良** りつ移入。うぬが金ご

トいつさぬ何りあうとく人しやくとかごーて捲とむてせまう **女房**
なげつけあいのてえんよの敷ととらふ所とあべりことま

いこのおちとよおどろいて **女良** ねんぐえ。お仲さんごふーと

のぶこ正長さんへてお出やあまらる。まのたづね入せん

女良 何れいりごごころはら。だでほうのやま **女房** せん

る敷ととく人しきさ。のり。ちのていひさー

むいさんでござうトとあいまごつたるがうがくやまあうがいと
み出ーびんごーとあて敷とやごー切である

そわごの申と **女房** ちろ移入いふけごよ **女良** りんそ

のほせさうう移 **女房** へーお前さんごうごま

つこりんごごトまねぐで まきるがう あまねてのぶのうごねお入

女良 ねあふらせがつ移中とよ **女房** あご三はきさりの

でもーせいやあさるごうら トがくやままびよ これでも

つら **女良** ちろ移入ト まごよとまご **女房** ちーい

ろーろばごおんがまらう **女良** くごを月をゆるうがごの
まごーあうくまらうごま

人かまなむのちねまむ。なんへーんあくご。我
 子で我血の志んまぐらでたうねて。つら梅
 髪とこもよわがけ出ーてままらう。あひの梅
 本糸まきとふんで。まわくくし。血の果
 小。子段と格。るる。く。ま。ま。

至乃惜畢

おん

5455

40011
4011

